



月刊 千葉労働者

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.10.27 No. 4681

労働者集会に 根を結集はつ

正念場の国鉄 決戦勝利へ!

—こころ一番の底力を—

こころ一番というときに、みんなが力を合わせ、頑なに原則を踏まえながら、難関をひとつひとつ突破し、ここまで前進してきた。それが俺たち労働者だと思ふ。こうした闘いのなかから、二八名の解雇撤回という大きな勝利もかちとってきた。このことに絶対的な確信を深め、いよいよ一〇四七名解雇撤回、強制配転者の原職復帰、予科生の士職登用に攻めのぼらなければならぬ。

十一・九全国労働者集会は、そのための重要な第一歩のたまたかいである。確かに今、物販オクルグの渦中であり、二日の運動



第25回定期大会に160名が結集し、三大方針のもと新世代の力強い登壇が宣言された(9/28~29、千葉・鴨川市内)

会があり、各職場での団結固めのたたかいありと、課題が三重三重と重なりながら、進行している。その中であえて「十一・九」の根こそぎ結集を大会で決定した。いわば「決戦」である。だからこそ当局もJR総連革マルも労働千葉の結集力に最大注目し、何かにつけて妨害を強めようとしているのである。われわれはこころ一番の底力を発揮し、JR総連革マルの敵対をけちらし、文字通りの総結集をかちとろう。

この力を背景にして、正念場の国鉄決戦勝利にむけた一大反転攻勢にうって出よう。

国鉄と大失業の道

戦争と大失業の道を断とう

—闘う労働運動の新潮流形成へ—



九月二三日から始まった新安保ガイドライン攻撃の情勢とは、まさに戦争と大失業攻撃の本格的開始である。だが今なら間に合う。大事なことは、この歴史の大反動を絶対に許してはならないという意志と情勢、そして行動である。

新安保ガイドラインとは、闘う労働運動の破壊であり、それを通して労働者のいかなる団結も抵抗も、なにもかも解体し、

抑えこむ攻撃である。その最大の攻防点が「国鉄」である。この正念場を何がなんでも勝ちきらなければならない。団結を固め、共に闘う人々を一人でも多く結集させること。安保・沖繩闘争と国鉄決戦を一体のものとして、職場・地域から大きなウネリを創りだそうではないか。「11・9」はそのための決定的闘いである。

新しい世代の労働千葉を創りあげよう!



われわれは第二五回定期大会で、この間培ってきた労働千葉の闘いと伝統を引き継ぎ、新しい世代の労働千葉、新たな労働千葉の黄金期を創りあげること満場の拍手で決定し、ただちに全支部では胸を熱くしながら、強制配転者の原職復帰、予科生

の士職登用を中心に、新たな闘いに突入している。時あたかも労働千葉への期待の声はこれまでになく高まっている。二八名の勝利の全教訓を多くの労働者に還流させ、労働運動の新しい潮流をしっかりと創りあげよう。